

大学、専門家などの協力で都市交流を進め、地域産業で里山保全

38. 藤野地区佐野川の里山【神奈川県相模原市】

範 囲	相模原市域、神奈川県域の最北西端に位置する里山	
所 在 地	神奈川県相模原市緑区佐野川	
生 物 地 理 区 分	コナラ林(東日本)	
環 境 要 素	二次林()、水田、畑、小川・水路、人工林	
自然条件	地 形	当地区は、沢井川・佐野川に沿った谷筋の地形で、北部には町最高峰である連行峰をはじめ、芽丸、生藤山、陣馬山など 1,000m級の急峻な山々がそびえ、南部には石老山、峰山といった 500m級のなだらかな山が連なっており、中央部に進むにつれて低くなる地形になっている。
	植 生・生物等	当地区は都心の近くにあつて原風景をとどめるエリアであり、自然の清流、ホタルの里、ギフチョウの森、続く茶畑の峰、自然遊歩道、見渡す限りの連峰等々自然の宝庫である。
社会条件	人口(市町村)	701,630人(農家率 1.3%、副業的兼業農家が多い) 相模原市のデータ(H22年)
	土 地 利 用	市総面積の 5.3%が田畑、57.6%が山林である。 相模原市のデータ(H22年) 対象地域は、面積の約8割が山地である。
	歴 史・文 化	地区一帯には山の斜面を切り開いた茶畑が広がっており、山の木々を伐採し、斜面を切り開き、そこに茶畑を造成するために、先人たちは谷川から岩石を運び上げ、一つ一つ積み上げていくという、気の遠くなるような労作業の果てに、土止めの石垣を築き上げた。 当地区では、こうした山間地の傾斜地にある段々茶畑や、今も使われる土蔵のある町並み景観、そこでの生業の歴史が高く評価されている。
法 指 定、行 政 に よ る 評 価 の 状 況	自然環境・景観保全や国土保全に関わる地域指定等	県立自然公園 水源涵養保安林
	すぐれた自然、景観、伝統文化などとしての選定	「かながわ蔵のまちなみ 100 選」に選定 朝日新聞社、(財)森林文化協会「にほんの里 100 選」に選出(H21)



撮影時期：H20年7月
山の斜面を切り開いた茶畑。

取組主体	タイプ	地元集落等:集落、地権者など地元の関係者が中心となった取組		
	主な主体	名称	概要	
		「佐野川茶生産組合」「和田の里みちくさの会」「上河原たすきの会」「佐野川地域おこしの会」「鎌沢竹の子の里づくり実行委員会」	各地区で産直品の生産・販売や体験観光等を行う市民活動団体。	
経緯	「にほんの里 100 選」にも選ばれたこの佐野川地区には、竹林も多くあり「竹の子の里」や里山体験を豊富に取り備えている「和田の里」として知名度を上げている。			
支援措置	該当なし			
取組の目的・目標	交流・定住人口の増加による地域活性化や高齢者の生きがい対策等。			
取組分野内容	農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化	・間伐材等地域資源の活用による都市住民との交流事業の促進(民間旅行会社 日帰りツアー旅行商品化) ・ホテル生息環境の整備 ・茶業振興策への支援(生産工場機材補助等) ・「にほんの里 100 選」への推薦及び情報提供等支援		
	バイオマスなど新たな資源としての利用	[対象となる資源] 樹木、竹 ・間伐材を活用した炭オブジェなどの付加価値をつけた商品づくり ・間伐材による MY 箸づくり体験 ・白炭技術の伝承 ・杉、檜等人工林の自然林化の促進(各種植栽事業)		
	環境教育や自然体験、エコツアーの場としての利用	自然観察会	里山ウォーク、ナイトウォーク(星空観察会)等の実施。	
		環境教育・学習活動	地元小学校や民間キャンプ場と連携し、子供達へ各種里山体験(竹細工、炭焼き、ホテル観察、うどん打ち、餅つきなど)を実施している	
		里地里山体験・環境保全	水源地域の最上流区域としての各種環境保全活動、イベント開催等。	
		農林業体験活動	都市住民との交流事業として、種まき、収穫体験を実施	
		エコツアー	MY 箸&うどん打ち体験	
その他				
野生動植物やその生息地の保全・管理	地元の団体による生態調査等			
地域の良好な景観の保全・修復	里山としての景観保全・復元作業(裏山の手入れ 荒廃農地の復元活用) 荒廃地対策のため地元有志組織による小麦等の栽培			
里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承	対象	生活行事	山の神、おひまち、おけい(お粥)食い等 【文化財指定】 なし	
		資源利用技術	間伐材や炭を活用した工芸品づくり	
		その他		
連携・協働	<p>「にほんの里 100 選」への応募支援(NPO法人ふじの里山くらぶ): 同くらぶ実行委員会の中に地域インタビュー担当等を設置し、町内在住のプロ写真家や文学作家の協力を得て応募フォームを取りまとめた。</p> <p>「古民家再生プロジェクト」: ふじの里山くらぶと横浜国立大学と連携事業。土蔵修復ワークショップや古民家ツアーなどを実施している。</p> <p>「地域資源活用旅行商品開発事業」(ふじの里山クラブ): 旅行業に関する基礎的な知識を習得するとともに、旅行商品造成の調整・企画立案工程を専門家(ツアープランナー)と実地に行いながら、旅行商品のモデルプランを作成することにより、旅行商品の企画立案手法の習得をめざす。さらに、ワークショップで作成されたモデルプランについては、旅行商品として販売していただけるよう、専門家(ツアープランナー)による地元受入組織への助言・指導を通じて 受入組織の立ち上げに取り組む</p> <p>特産品開発(藤野商工会/(有)ふじの他): 地場産品である「ゆす」や「小麦」を活用した特産品開発が積極的に行われている。</p>			

撮影時期:	撮影時期:
景観としての 利用・評価	<p>観光パンフレット等に写真が使用されている 風景探勝や撮影の来訪者が多い 自然公園や景観保全のための地域指定がある 景観関連調査(文化的景観等)の対象地となっている</p>
取組の特徴	<p><u>立地条件を活かした都市住民との交流事業や体験観光を促進、地域活性化を目指し受け入れ体制のさらなる充実を図っている。</u></p> <p>山間に拓かれた急傾斜の里だが、地元主体で裏山の手入れ、荒廃農地の復元・小麦等の栽培、茶業振興に取り組みながら、都市住民との交流事業を促進している。</p> <p>都心から1時間圏内にある立地条件を活かし旅行会社が日帰りツアー商品化、間伐竹によるMYはしづくり体験、うどん打ちなどを提供、また、横浜国大との連携による土蔵修復など古民家再生プロジェクトや、間伐材活用の炭オブジェなどの商品開発にも取り組む。</p> <p>今後は、子ども農漁村交流プロジェクトの受け入れ地としても申請予定であるとともに、民泊等の受け入れ体制等も構築していく。そして、地域産業の副業的収入につなげて交流人口を増やし、地域活性化を図ることを目標としている。</p>

【参照資料】

相模原市観光協会公式 HP (<http://www.e-sagamihara.com/>)

「神奈川やまなみ五湖navi」HP (<http://www.suigen.jp/>)

ふじの里山くらぶHP (<http://www.shokonet.or.jp/fujino-sato/>)

藤野観光協会HP (<http://info-fujino.com/>)